

研究に関するお知らせ

研究課題名：「食道癌手術後の異時性胃癌に対する全国実態調査」について

本研究は日本食道学会の倫理委員会で審査され、理事長の許可を得て実施しています。当院も本研究の主旨に賛同し、臨床情報提供機関として参加しております。

1. 研究の対象

2001年1月1日～2015年12月31日に、当院において食道癌手術後の胃癌の診断を受けた方

2. 研究（調査）の目的・方法・参加施設

（1）研究目的

食道癌の手術では、食道を切除したあとに胃を持ち上げて再建することが一般的です。

近年、手術後の胃に胃癌が見つかることが増えていますが、全国的な調査は行われておらず、治療法や治療成績などの実際はよくわかっていません。

食道癌の診療で中心的な役割を果たしている全国の施設からデータを集積して、解析することにより、食道癌手術後の胃癌に対する治療成績の向上を図ります。

（2）研究方法

日本食道学会の食道外科専門医認定施設において、食道癌手術後に胃癌の診断を受けた患者さんの診療録を調査します。手術から胃癌診断までの期間や診断法、治療法、治療成績などを調べます。研究事務局においてデータを集積し、本邦における食道癌手術後胃癌の診療の実際を明らかにします。

（3）研究参加施設

新潟市民病院、他日本食道学会食道外科専門医認定施設

3. 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

診療記録から得られたデータを集めて解析します。患者さんのデータは、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を保護します。

4. 研究組織

研究責任者：九州がんセンター 消化管外科 藤 也寸志

5. お問い合わせ先

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査へのご協力の如何にかかわらず、利益や不利益が及ぶことはありません。データの使用をお断りになる場合には本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

本件に係る連絡先：

新潟市民病院 消化器外科 桑原 史郎

新潟県新潟市中央区鐘木463-7

025-281-5151（代表）